



# 2017年11月期第3四半期 決算説明資料



S-RESIDENCE江坂 Alegria (大阪府吹田市)

サムテイ株式会社

東証一部 証券コード：3244

---

# トピックス

---

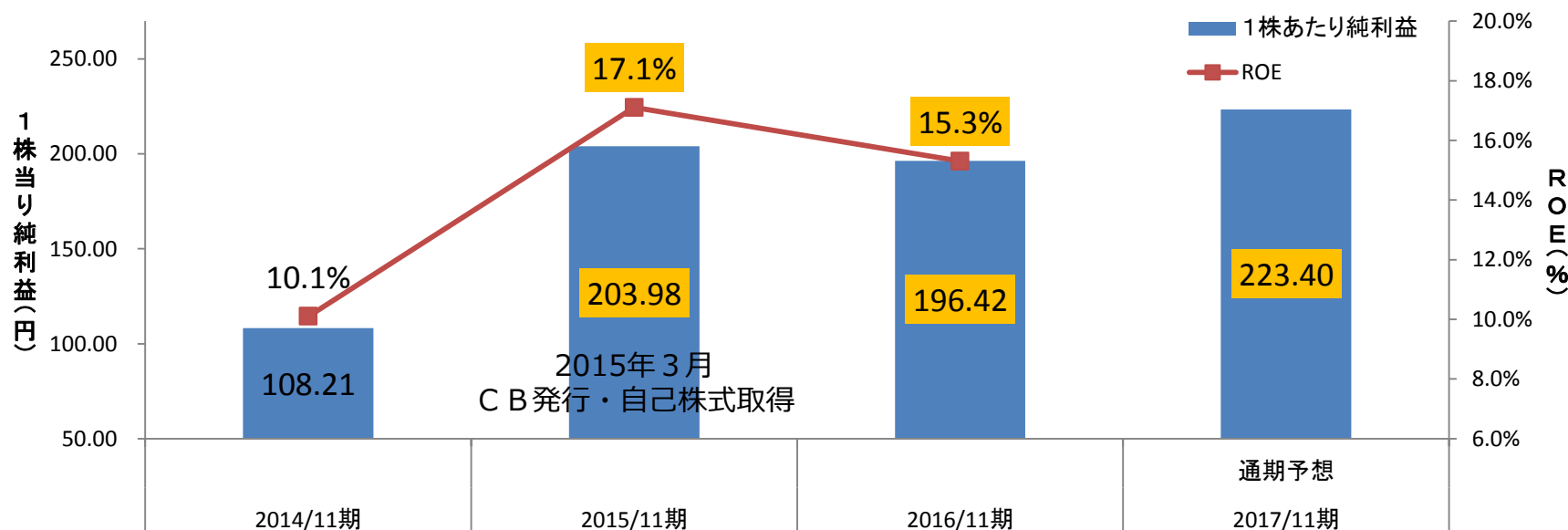
2017年10月6日、すべてのC Bが株式に転換し、C Bの残高はゼロに。

## C Bの概要

1. 発行日： 2015年3月20日
2. 発行総額：40億円（額面）
3. 資金使途：販売用不動産及び開発用地の取得開発、自己株式の取得
4. 目的： 1株当たり利益（E P S）やR O E等資本効率の上昇、中期的な自己資本の拡充

C B発行後、E P Sは発行前の約2倍の水準に上昇。  
R O Eも10%台後半へと大きく上昇。

1株当たり利益とROEの推移



知名度向上施策の一環としてTVCMを制作し、下記の4番組に番組提供を実施。優秀な人材の獲得、信頼感の向上、企業イメージの醸成等を目的としております。

テレビ東京系列「カンブリア宮殿」  
(毎週木曜日 夜10時～10時54分)

テレビ東京系列/BSジャパン  
「Newsモーニングサテライト」  
(毎週月～金曜日 朝5時45分～7時5分)

BSジャパン「日経プラス10」  
(毎週月～金曜日 夜10時～10時58分)

BSジャパン「ゴルフ交遊抄」  
(毎週日曜日 朝7時30分～8時00分)

また9月25日(月)～10月1日(日)にはJR東京駅をはじめ、首都圏19駅24エリアにてデジタルサイネージ広告を掲出。今後とも様々な媒体における広告の掲出によって、知名度の向上を図ってまいります。



JR桜木町駅



JR品川駅

当社が開発したレジデンス5物件について、次の通り、売却致します。  
本件売却については、平成29年8月31日付「販売用不動産の売却に関するお知らせ」で公表しております。

物件名称	所在	種別	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)
販売用不動産①	大阪市淀川区	レジデンス	6,561.09	1,881.65
販売用不動産②	大阪府中央区	レジデンス	2,657.34	272.51
販売用不動産③	大阪市都島区	レジデンス	3,672.03	983.70
販売用不動産④	大阪府吹田市	レジデンス	2,147.85	639.28
販売用不動産⑤	大阪市西区	レジデンス	3,960.96	429.64

契約締結日：①～⑤ 平成29年08月31日  
物件引渡日：①～④ 平成29年09月22日 (※売却決済完了)  
⑤ 平成29年11月30日 (予定)

※本件売却による売上高及び売却利益

売上高 平成28年11月期の連結売上高の10%に相当する額以上

売却利益 平成28年11月期の連結経常利益及び当期純利益のそれぞれ30%に相当する額以上

①～④の4物件については、予定通り、9月22日付にて決済、引渡しが完了しております。  
本件売却が業績に与える影響などについては、他の要因も含めて精査中です。

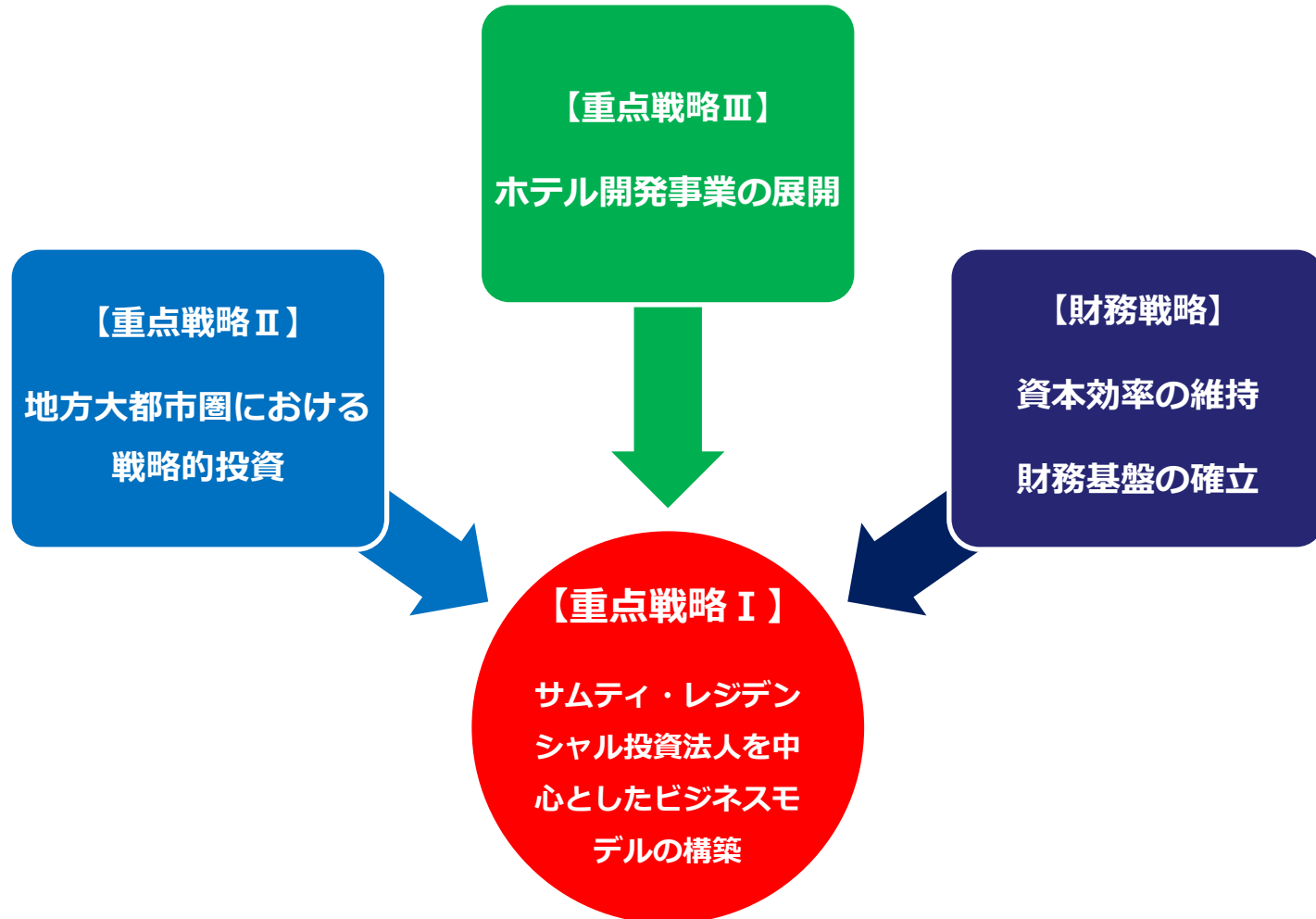
**尚、本件売却による売上及び利益は、第4四半期に計上されます。**

---

中長期経営計画  
2016年11月期 – 2020年11月期

---

2016年11月期-2020年11月期の5カ年における中長期経営計画。  
サムティ・レジデンシャル投資法人を中心にマネジメント事業を強化。  
また、地方大都市圏への投資、ホテル開発事業の展開、併せて財務基盤の確立を目指す。



利益目標としては、2020年11月期に**経常利益100億円水準**、**EPS300円以上**と設定。  
 また、**ROE15%以上**の資本効率を維持しつつ、自己資本の充実を目指す。  
 株主還元としては、**配当性向30%以上**を目標とする。

	2016/11期 実績	2017/11期 通期予想
売上高(百万円)	52,409	62,000
経常利益(百万円)	6,788	8,000
EPS(円)	196.42	223.40
ROE	15.3%	-
ROA※	6.4%	-
自己資本比率	23.1%	-
配当性向	16.8%	18.8%
ネットD/Eレシオ※	2.26	-

中長期経営計画(2016-2020/11期)		
2016/11期 数値目標	2018/11期 数値目標	2020/11期 数値目標
57,000	85,000	100,000 水準
7,000	9,000	10,000 水準
194.40	240.00	300.00 以上
14.9%	15.0%	15.0% 以上
7.0%	7.0%	7.0% 以上
23.0%	27.0%	30.0% 以上
-	-	30.0% 以上
-	-	2.00 以下

※ROA=営業利益÷総資産(期首・期末平均)

※ネットD/Eレシオ=(有利子負債-現預金)÷自己資本



---

## 2017年11月期予想

---

## 営業利益103億円、経常利益80億円を予想（2017年7月に上方修正）

- ◇販売計画◇ 開発流動化：首都圏及び関西圏のS-RESIDENCE 7物件  
再生流動化：全国主要都市に保有する収益不動産30物件（※固定資産含む）  
投資分譲：15物件約650戸
- ◇投資計画◇ 開発プロジェクト 約158億円  
収益不動産取得 約265億円
- ◇株主還元◇ 普通配当として9円増配し、1株当たり42円の配当を計画

(単位:100万円)	2016/11期 通期実績		2017/11期 通期予想(上方修正後)		前年比	
		構成比		構成比	増減額	増減率
売上高	52,409	100.0	62,000	100.0	+9,591	+18.3%
不動産事業	43,783	83.5	53,300	86.0	+9,517	+21.7%
不動産賃貸事業	7,288	13.9	7,200	11.6	△ 88	△ 1.2%
その他の事業	1,853	3.5	1,880	3.0	+27	+1.5%
調整額	-515	-	-400	-	+115	-
営業利益	8,586	100.0	10,300	100.0	+1,714	+20.0%
不動産事業	8,071	94.0	11,000	106.8	+2,929	+36.3%
不動産賃貸事業	2,550	29.7	2,100	20.4	△ 450	△ 17.6%
その他の事業	123	1.4	145	1.4	+22	+17.9%
調整額	-2,159	-	-2,850	-	△ 691	-
経常利益	6,788	-	8,000	-	+1,212	+17.9%
当期純利益	4,628	-	5,300	-	+672	+14.5%
1株当たり配当金	33.00	-	42.00	-	+9.00	+27.3%
1株当たり当期純利益	196.42	-	223.40	-	+26.98	+13.7%

---

2017年11月期第3四半期  
決算概要

---

## 【概要】

当第3四半期は、販売物件の決済が少なく、固定費や支払利息等の影響で経常赤字となった。

(トピックス記載の開発5物件の売上利益は、第4四半期での計上となる)

前年同期との比較では、営業利益は約60.3%増の7,046百万円、経常利益は約87.1%増の5,771百万円と大幅な増益となり、各段階利益の利益率は前年同期より3%～4%程度上回った。

収益不動産の販売は好調で、通期での業績は計画以上に進捗している。

通期予想に対する進捗率は、売上高で約69%、純利益で約80%となった。

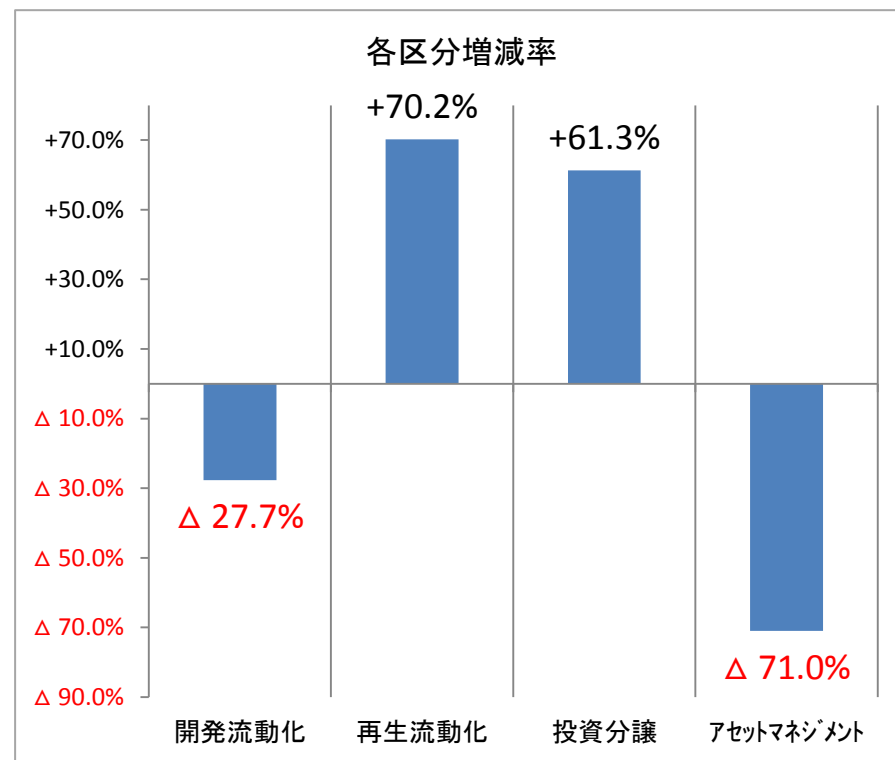
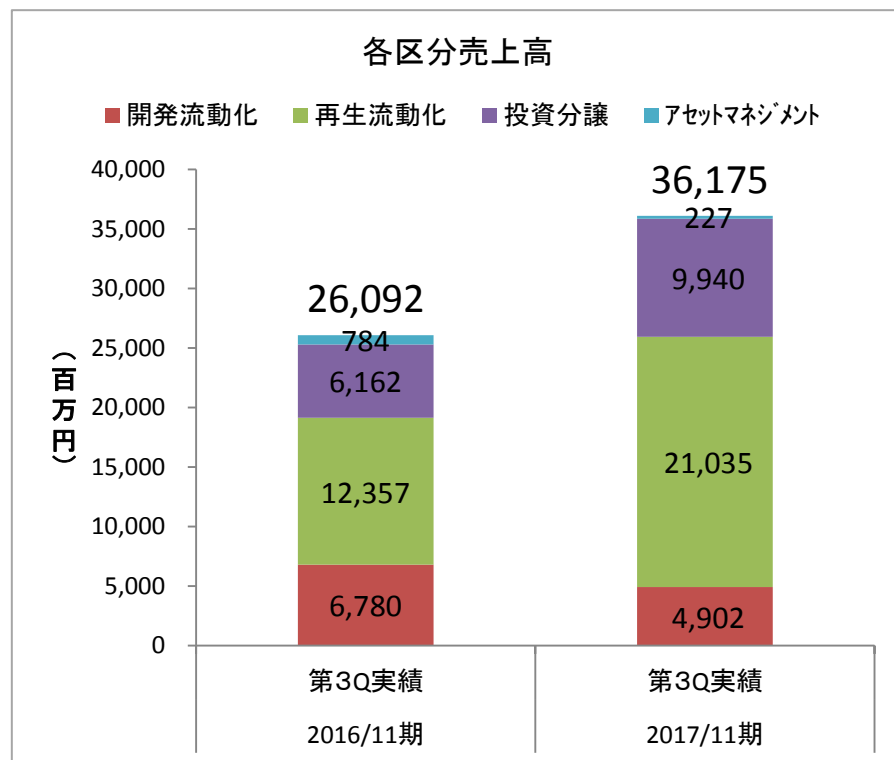
(単位:100万円)	2016/11期 第3Q実績		2017/11期 第3Q実績		前年同期比 増減		2017/11期 通期予想 (修正後)	進捗率
		構成比		構成比		増減率		
売上高	32,386	100.0	42,679	100.0	+10,292	+31.8%	62,000	68.8%
売上原価	24,577	75.9	31,744	74.4	+7,166	+29.2%	-	-
販売費・一般管理費	3,412	10.5	3,888	9.1	+475	+13.9%	-	-
営業利益	4,396	13.6	7,046	16.5	+2,649	+60.3%	10,300	68.4%
営業外収益	102	0.3	40	0.1	△ 62	△ 61.0%	-	-
営業外費用	1,413	4.4	1,314	3.1	△ 99	△ 7.0%	-	-
経常利益	3,085	9.5	5,771	13.5	+2,686	+87.1%	8,000	72.1%
特別利益	259	0.8	1,148	2.7	+889	+343.2%	-	-
特別損失	111	0.3	1,101	2.6	+989	+888.0%	-	-
純利益	2,166	6.7	4,228	9.9	+2,062	+95.2%	5,300	79.8%
1株当たり四半期純利益	92.12	-	177.13	-	+85	+92.3%	223.40	79.3%

		売上高	前年同期比
不動産事業	第3Qにおいて、収益不動産4物件及び投資用マンションを販売。前年同期と比較して「再生流動化」「投資分譲」が大きく伸長。	<b>36,175百万円</b>	<b>+38.6%</b>
不動産賃貸事業	収益不動産の取得加速により、売上は増収。大型タワー物件及び物流倉庫の減価償却費負担等の影響で減益。	<b>5,431百万円</b>	<b>+4.0%</b>
その他の事業	第2Qに引き続き、建築工事の受注増加等により伸長。	<b>1,359百万円</b>	<b>+13.6%</b>

(単位:100万円)	2016/11期 第3Q実績		2017/11期 第3Q実績		前年同期比 増減		2017/11期 通期予想 (修正後)	進捗率
		構成比		構成比		増減率		
売上高	32,386	100.0	42,679	100.0	+10,292	+31.8%	62,000	68.8%
不動産事業	26,092	80.6	36,175	84.8	+10,082	+38.6%	53,300	67.9%
不動産賃貸事業	5,223	16.1	5,431	12.7	+207	+4.0%	7,200	75.4%
その他の事業	1,196	3.7	1,359	3.2	+162	+13.6%	1,880	72.3%
調整額	-125	-	-286	-	△160	-	-400	-
営業利益	4,396	100.0	7,046	100.0	+2,649	+60.3%	10,300	68.4%
不動産事業	3,788	86.2	7,284	103.4	+3,495	+92.3%	11,000	66.2%
不動産賃貸事業	1,837	41.8	1,513	21.5	△324	△17.7%	2,100	72.0%
その他の事業	311	7.1	197	2.8	△113	△36.5%	145	135.9%
調整額	-1,542	-	-1,949	-	△407	-	-2,850	-

※詳細区分は、セグメント間取引消去後の数値

(単位100万円)	2016/11期 第3Q実績	2017/11期 第3Q実績	増減額	増減率	通期予想 (修正後)	進捗率
売上高	26,092	36,175	+10,082	+38.6%	53,300	67.9%
開発流動化(S-RESIDENCE等の企画開発・販売)	6,780	4,902	△ 1,878	△ 27.7%	-	-
再生流動化(既存収益不動産等の再生・販売)	12,357	21,035	+8,677	+70.2%	-	-
投資分譲(投資用マンションの企画開発・販売)	6,162	9,940	+3,778	+61.3%	-	-
アセットマネジメント	784	227	△ 557	△ 71.0%	-	-
セグメント利益	3,788	7,284	+3,495	+92.3%	11,000	66.2%
セグメント利益率	14.5%	20.1%	-	+5.6%	20.6%	-



S-RESIDENCE 3 物件、その他の収益不動産23物件を販売。  
各物件において、計画を上回る利益率を獲得。

主な販売実績（3Q）

物件名称	用途	エリア	所在	戸数	販売時期
PRESENCE発寒南Ⅱ	マンション	北海道	札幌市西区	18	2017年6月
グランハイツタカヤマ	マンション	関西	京都市左京区	22	2017年7月
サムティイースト白壁	マンション	中部	名古屋市	21	2017年7月
サムティ西中島ビル	オフィスビル	関西	大阪市淀川区	16	2017年8月

累計（1Q+2Q+3Q）

販売件数（棟）	26	
	S-RESIDENCE	収益不動産
北海道エリア	0	3
東北エリア	0	1
首都圏エリア	1	4
中部エリア	0	1
関西エリア	2	11
四国エリア	0	1
九州エリア	0	2
合計	3	23



サムティイースト白壁

（注）収益不動産 = 販売用不動産 + 固定資産

首都圏、関西エリア併せて、565戸を販売。  
進捗率は85.2%（戸数ベース）となり、好調に推移。

主な販売物件

物件名称	用途	エリア	所在	総戸数
プラシア北千住	マンション	首都圏	東京都足立区	102
エルフォルテ品川サウスシティ	マンション	首都圏	東京都品川区	38
サムティ本町橋Ⅱ MEDIUS	マンション	関西	大阪府中央区	150
サムティ福島VIVENTE	マンション	関西	大阪府福島区	80
サムティ江坂レガーロ	マンション	関西	大阪府吹田市	65

販売実績と進捗

	実績 (3Q時点)	今期計画	進捗率
販売戸数(戸)	565	663	85.2%
首都圏エリア	248	299	82.9%
関西エリア	317	364	87.1%



サムティ本町橋Ⅱ  
MEDIUS



エルフォルテ品川  
サウスシティ



14物件、想定売上210億円相当のプロジェクト用地を取得。  
 取得のペースは鈍いものの、通期では、ほぼ計画通りの着地となる見込み。

主な仕入実績

所在	種別	エリア	敷地面積 (㎡)	計画戸数	取得時期
大阪府吹田市江坂町1丁目	S-RESIDENCE	関西	722.68	153	2017年2月
東京都中央区日本橋馬喰町	投資用マンション	首都圏	235.80	35	2017年3月
大阪市西区本田	投資用マンション	関西	808.13	140	2017年4月
名古屋市千種区内山	S-RESIDENCE	中部	259.34	44	2017年4月
東京都豊島区高田	投資用マンション	首都圏	331.67	36	2017年4月
大阪市北区西天満	S-RESIDENCE	関西	287.79	138	2017年6月
東京都墨田区東向島	投資用マンション	首都圏	545.95	76	2017年8月

累計(3Q時点)

取得件数	14
首都圏エリア	7
中部エリア	2
関西エリア	5
予算に対する進捗率(取得金額ベース)	39.0%
予算に対する進捗率(想定売上高ベース)	37.5%

14物件（S-RESIDENCE 7物件、投資用マンション7物件）が竣工。  
開発計画は予定通りに進行。

主な竣工実績

物件名称	用途	エリア	所在	戸数	竣工時期
S-RESIDENCE 都島	マンション	関西	大阪市都島区	120	2017年6月
S-RESIDENCE 鶴舞	マンション	中部	名古屋市中区	109	2017年8月
S-RESIDENCE 江坂Alegria	マンション	関西	大阪府吹田市垂水町	75	2017年6月
S-RESIDENCE 谷町5丁目	マンション	関西	大阪府中央区	84	2017年7月
メイクスデザイン両国NORTH	マンション	首都圏	東京都墨田区	38	2017年3月
エスフォルテ品川サウスシティ	マンション	首都圏	東京都品川区	38	2017年3月

累計(3Q時点)

竣工件数(棟)	14	
	S-RESIDENCE	投資用マンション
北海道エリア	0	0
首都圏エリア	1	4
中部エリア	1	0
関西エリア	5	3
九州エリア	0	0
合計	7	7

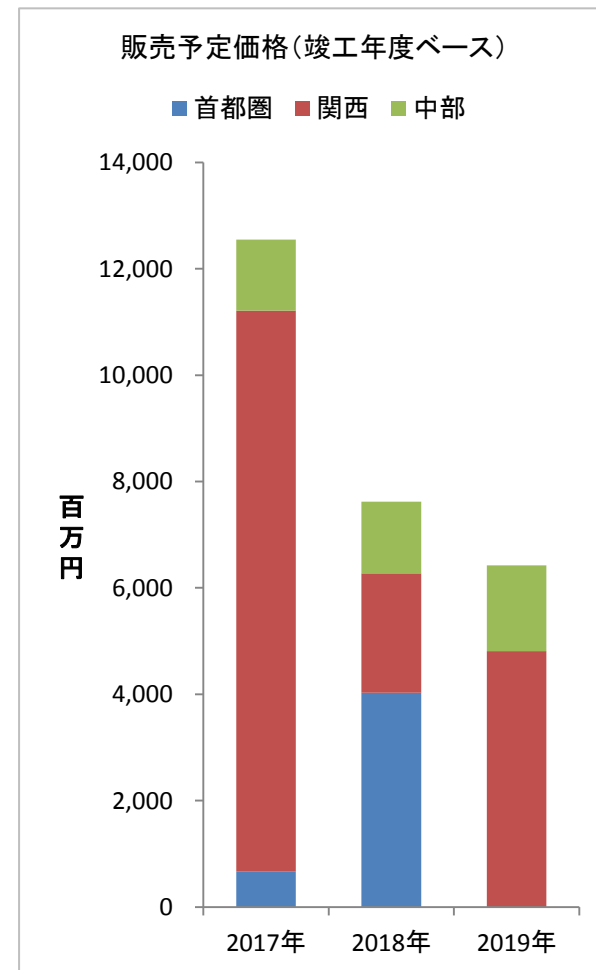


S-RESIDENCE  
都島



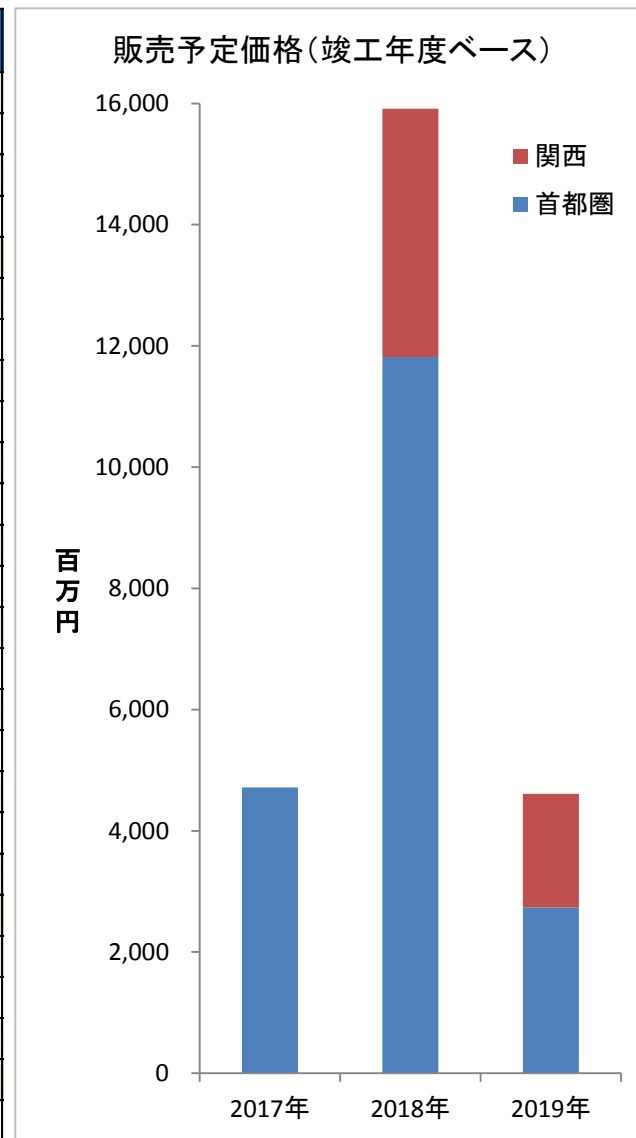
S-RESIDENCE  
鶴舞

竣工年度	物件名称／PJ名称	所在地	戸数
2017年 (平成29年)	S-RESIDENCE 深江橋EAST II	大阪市東成区	96
	S-RESIDENCE 宮の森(※固定資産)	札幌市中央区	22
	S-RESIDENCE 新大阪WEST	大阪市淀川区	224
	S-RESIDENCE 都島	大阪市都島区	120
	S-RESIDENCE 江坂Alrgria	大阪府吹田市	75
	S-RESIDENCE 谷町5丁目	大阪市中央区	84
	S-RESIDENCE 鶴舞	名古屋市中区	109
	S-RESIDENCE 南堀江	大阪市西区	154
	S-RESIDENCE 川崎貝塚	神奈川県川崎市	43
計 9棟			927
2018年 (平成30年)	S-RESIDENCE 市川市南八幡	千葉県市川市	100
	S-RESIDENCE 淀川区木川東4丁目	大阪市淀川区	177
	S-RESIDENCE 新宿アーバンスタイル	東京都新宿区	65
	S-RESIDENCE 松戸市本町	千葉県松戸市	52
	S-RESIDENCE 名古屋市東区葵	名古屋市東区	95
計 5棟			489
2019年 (平成31年)	S-RESIDENCE 吹田市江坂町	吹田市江坂町	153
	S-RESIDENCE 北区西天満	大阪市北区	138
	S-RESIDENCE 名古屋市北区志賀本通	名古屋市北区	88
	S-RESIDENCE 名古屋市千種区内山	名古屋市千種区	44
計 4棟			423
合計 18棟			1,839



- (注1) 「S-RESIDENCE宮の森」を除く各物件について、サムティ・レジデンシャル投資法人に優先交渉権を付与しております。
- (注2) 優先交渉権を付与している物件を含め上記各物件について、2017年8月末現在、サムティ・レジデンシャル投資法人と売買の合意はしておりません。
- (注3) 販売予定価格は、サムティグループが取得したS-RESIDENCE向け開発用地の想定販売価格を竣工年度別に集計しております。2017年8月末時点の数値であり、今後変更になる可能性があります。また、竣工年度別の集計であるため、実際の売上年度とは必ずしも一致いたしません。
- (注4) 「S-RESIDENCE宮の森」は固定資産として保有する予定であり、販売予定価格のグラフに含んでおりません。
- (注5) 売却決済済みの物件については、本表及びグラフから除外しております。

竣工年度	物件名称／PJ名称	所在地	戸数
2017年 (平成29年)	S-RESIDENCE 押上パークサイド	東京都墨田区	39
	S-RESIDENCE 御茶ノ水	東京都文京区	57
	S-RESIDENCE 清澄白河	東京都江東区	41
	S-RESIDENCE 新宿イースト	東京都新宿区	29
	計 4棟		
2018年 (平成30年)	S-RESIDENCE 日本橋浜町	東京都中央区	30
	S-RESIDENCE 錦糸町パークサイド	東京都墨田区	72
	S-RESIDENCE 練馬桜台	東京都練馬区	48
	S-RESIDENCE 文京小石川	東京都文京区	27
	台東区台東2丁目	東京都台東区	53
	S-RESIDENCE 月島	東京都中央区	45
	台東区蔵前3丁目	東京都台東区	28
	台東区小島1丁目(西)	東京都台東区	38
	豊島区池袋本町1丁目	東京都豊島区	31
	豊島区高田2丁目	東京都豊島区	36
	中央区日本橋馬喰町1丁目	東京都中央区	35
	淀川区木川東2丁目	大阪市淀川区	90
	淀川区西宮原2丁目Ⅱ	大阪市淀川区	90
	西淀川区姫里2丁目	大阪市西淀川区	85
	西区江戸堀3丁目Ⅱ	大阪市西区	50
計 15棟			758
2019年 (平成31年)	台東区小島1丁目(東)	東京都台東区	34
	墨田区東向島1丁目	東京都中央区	76
	西区本田1丁目	大阪市西区	140
計 3棟			250
合計 22棟			1,174



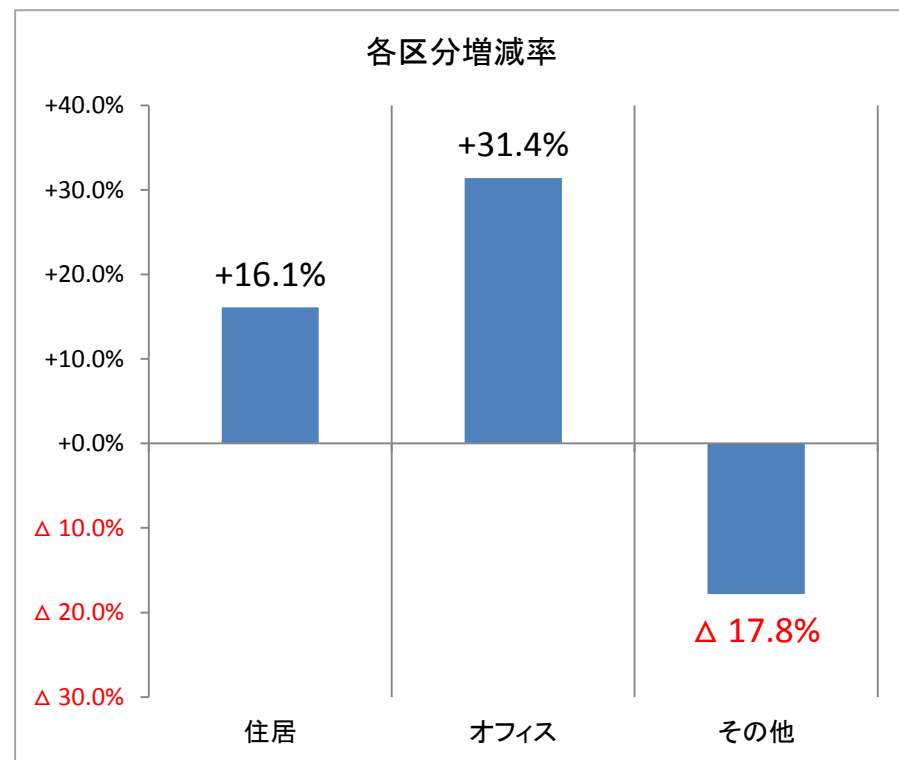
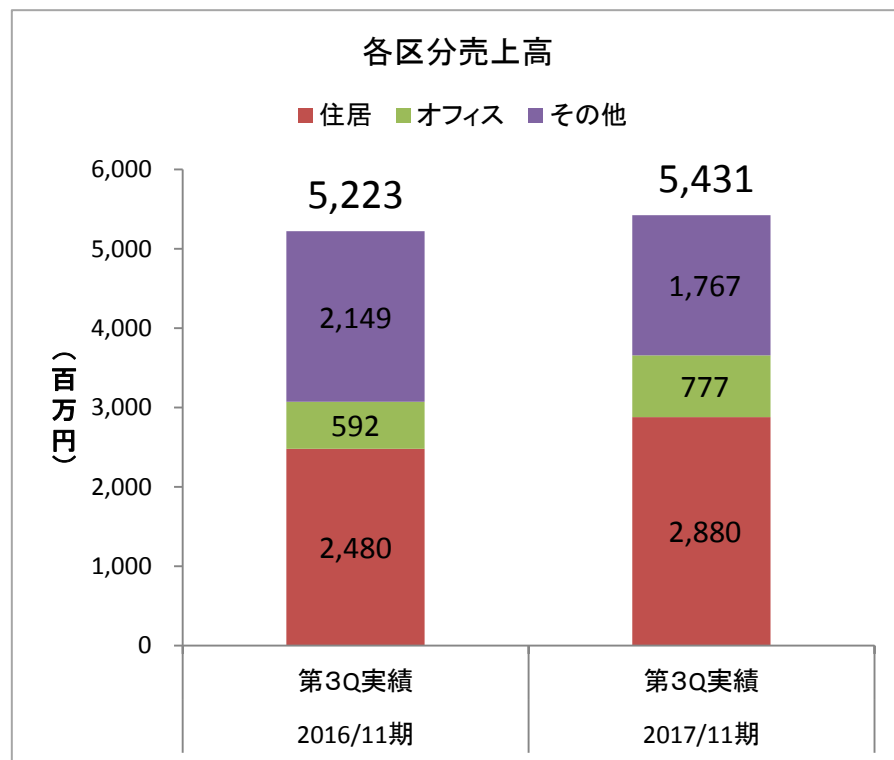
(注1) 販売予定価格は、竣工年度別の集計であり、実際の売上年度とは必ずしも一致いたしません。

(注2) 本ページ記載の開発計画は、2017年8月末日時点の数値であり、今後変更となる可能性があります。

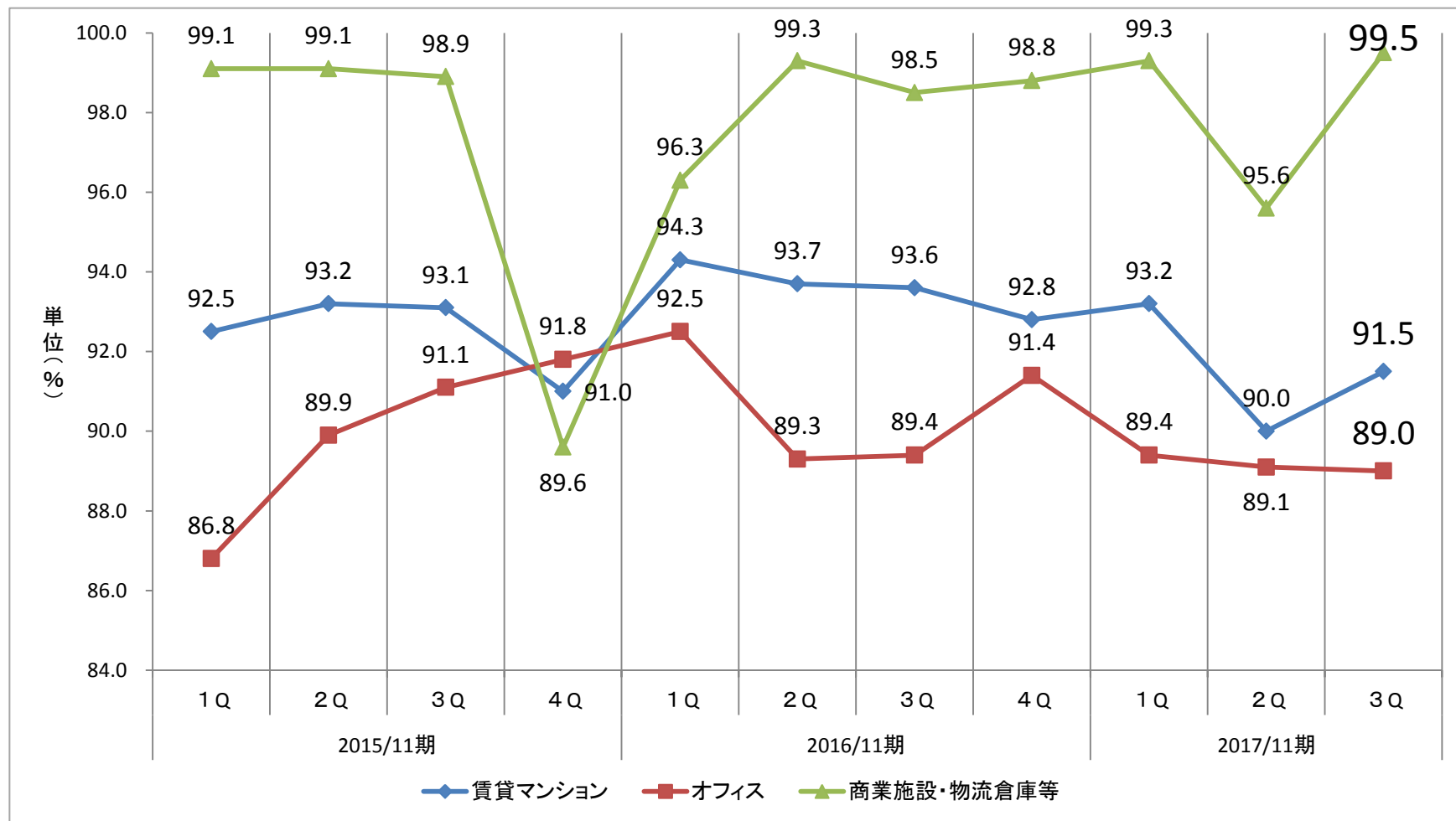
**(注3) 本ページ記載の首都圏の各物件については、「S-RESIDENCE」として1棟での売却を予定しております。**

※詳細区分は、セグメント間取引消去後の数値

(単位100万円)	2016/11期	2017/11期	増減額	増減率	通期予想	進捗率
	第3Q実績	第3Q実績			7,200	75.4%
売上高	5,223	5,431	+207	+4.0%	7,200	75.4%
住居(賃貸マンション)	2,480	2,880	+399	+16.1%	-	-
オフィス	592	777	+185	+31.4%	-	-
その他(商業施設、駐車場、物流施設等)	2,149	1,767	△ 382	△ 17.8%	-	-
セグメント利益	1,837	1,513	△ 324	△ 17.7%	2,100	72.0%
セグメント利益率	35.2%	27.9%	-	△ 7.3%	29.2%	-



賃貸マンション、商業施設等の稼働率は堅調に推移。



(注1) サムティ単体所有の収益不動産（固定資産+販売用不動産）  
 (注2) S-RESIDENCEなど開発物件は除く  
 (注2) 各四半期末時点の稼働率

収益不動産の取得を加速。

3大都市圏、政令指定都市等において、40物件、約290億円の収益不動産を取得。

主な取得実績

物件名称	用途	エリア	所在	延床面積 (㎡)	戸数	取得時期
GOZAN HOTEL 東山三条	ホテル	関西	京都市東山区	1,113.31	21	2017年6月
サムティ上本町ビル	オフィスビル	関西	大阪市天王寺区	9,696.87	28	2017年6月
サムティレジデンス千葉中央	マンション	首都圏	千葉市中央区	1,544.96	42	2017年6月
GRANDDUKE鶴舞reale	マンション	中部	名古屋市昭和区	4,079.36	56	2017年8月
サムティ中広通り	マンション	中国	広島市西区	2,239.33	74	2017年8月
サムティ水前寺	マンション	九州	熊本市中央区	4,502.96	119	2017年8月

累計(3Q時点)

取得件数(棟)	40
北海道エリア	7
首都圏エリア	7
中部エリア	7
関西エリア	11
中国エリア	3
九州エリア	5



GOZAN HOTEL  
東山三条



サムティ水前寺

(注) 取得件数は収益不動産(固定資産+販売用不動産)の集計

3大都市圏、政令指定都市等を中心としたポートフォリオを構築。  
収益性の低いオフィスビルを販売し、オフィス割合は低下。

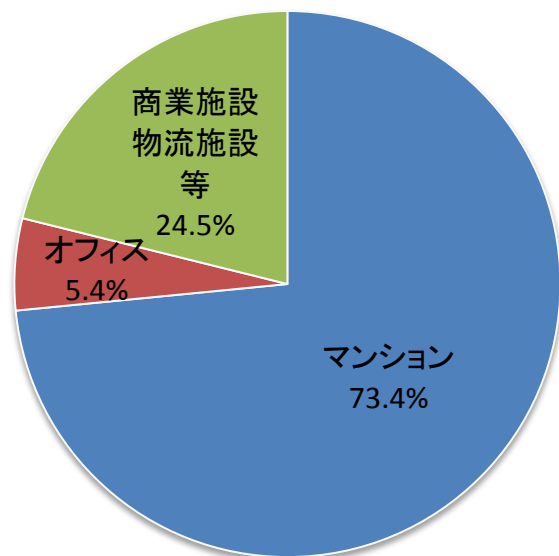
当社保有資産

2017年8月末時点	物件数 (件)	延床面積 (㎡)
賃貸マンション	82	181,917
オフィスビル	9	13,449
商業施設、物流施設等	11	52,320
合計	102	247,686

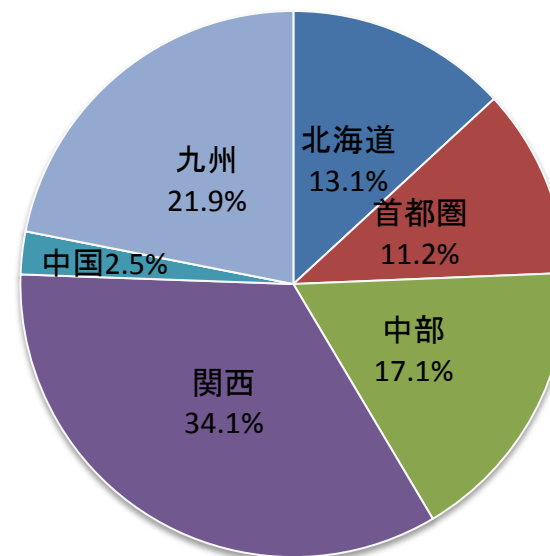
(注1) 2017年8月末時点サムティ単体所有の固定資産

(注2) 円グラフは延床面積ベース

用途別分布



エリア別分布





(単位100万円)	2016/11期 第3Q実績	2017/11期 第3Q実績	増減額	増減率	通期予想	進捗率
売上高	1,196	1,359	+162	+13.6%	1,880	72.3%
セグメント利益	311	197	△ 113	△ 36.5%	145	135.9%
セグメント利益率	26.0%	14.5%	-	△ 11.5%	7.7%	-

保有・運営ホテル



**センターホテル東京**  
東京都中央区日本橋  
客室数：107室

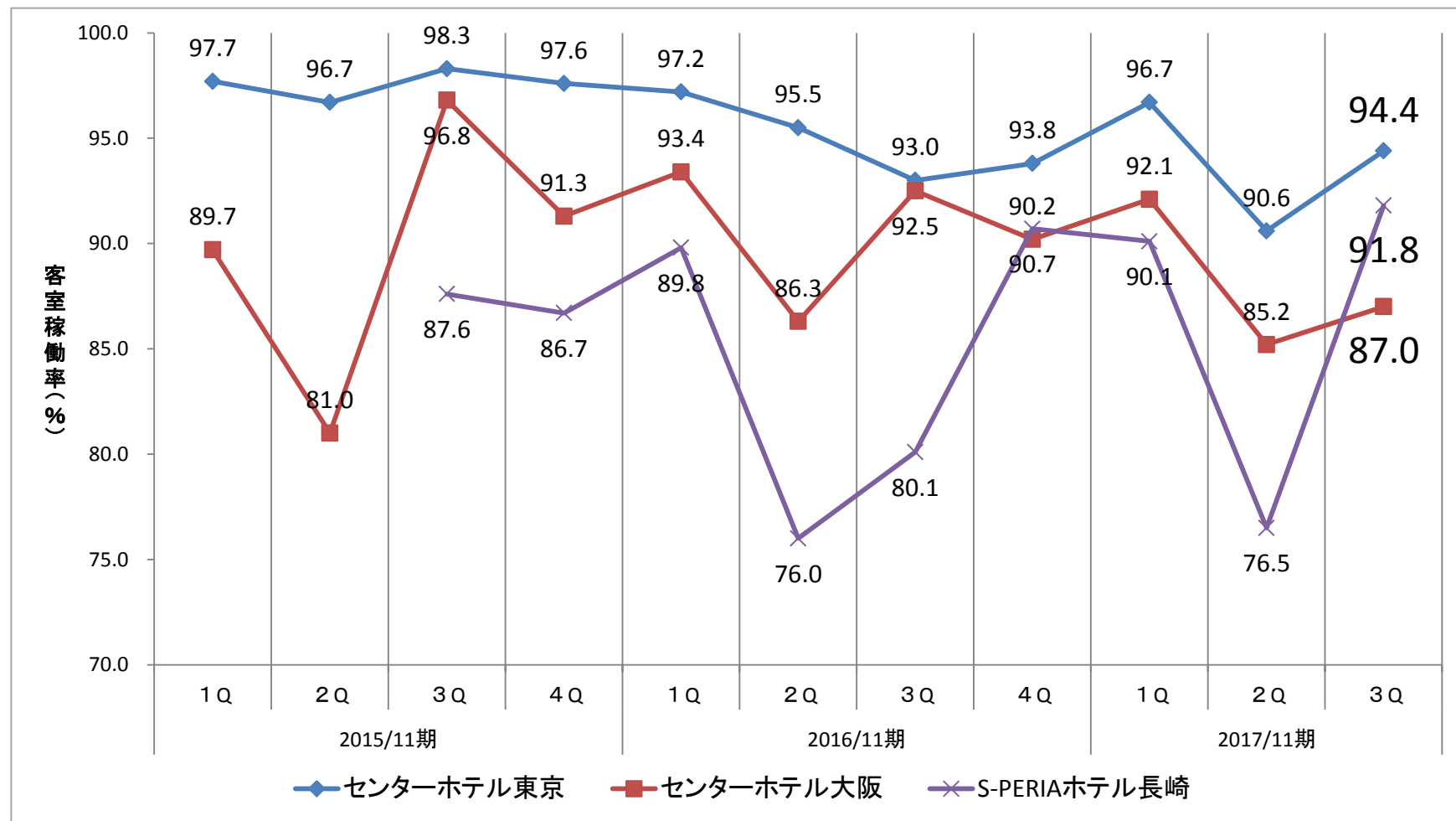


**センターホテル大阪**  
大阪市中央区北浜  
客室数：84室

**エスペリアホテル長崎**  
長崎県長崎市  
客室数：153室



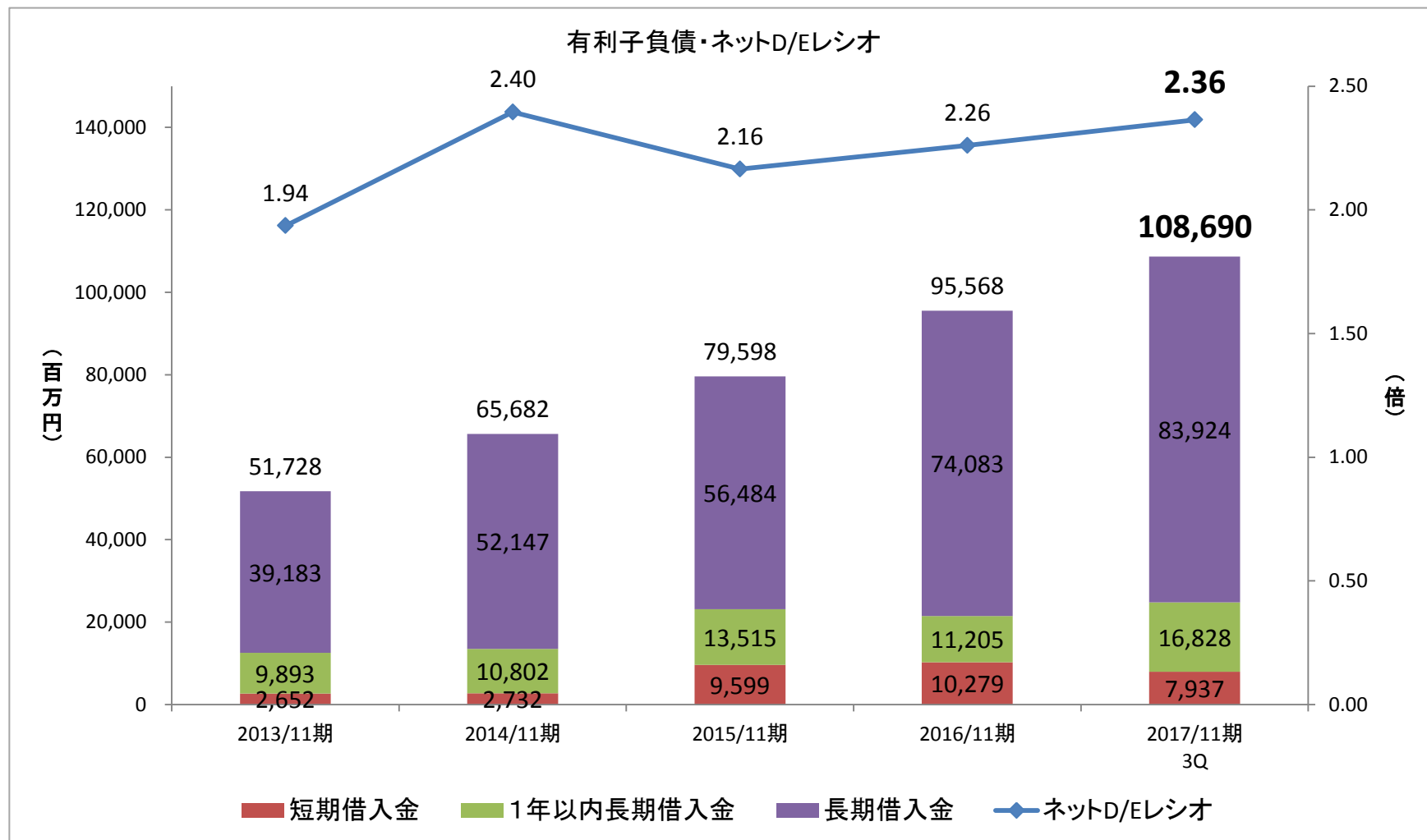
各ホテルの稼働率は堅調に推移。  
S-PERIAホテル長崎は、個人客の取込に注力し、大きく稼働率が改善。



(注) 各四半期末時点の客室平均稼働率

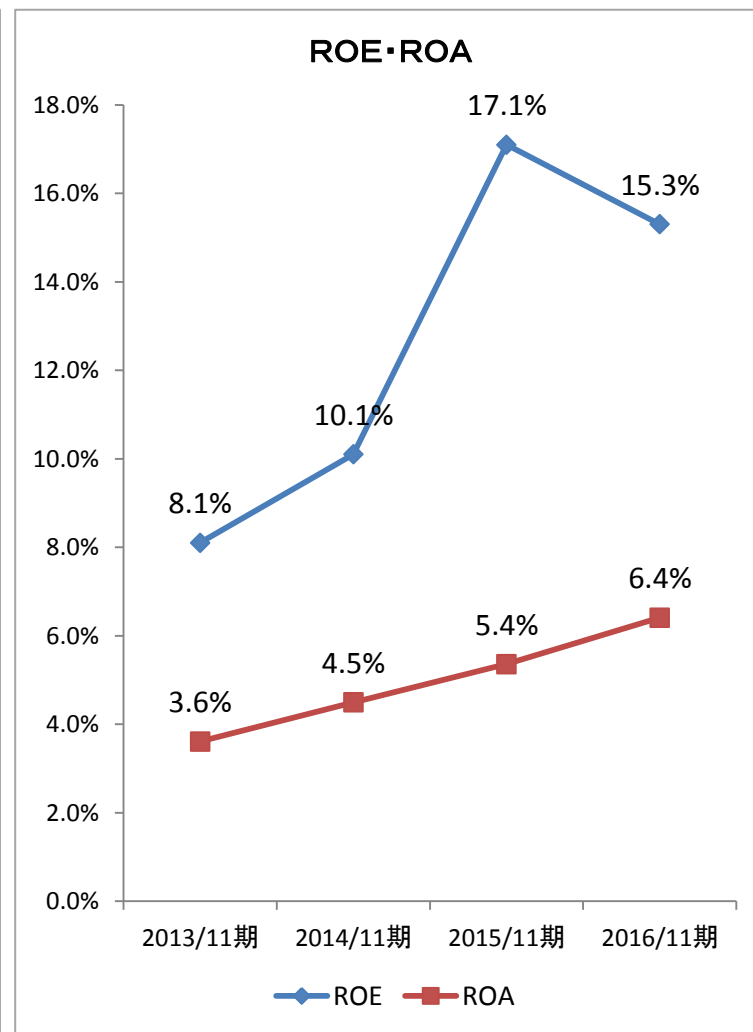
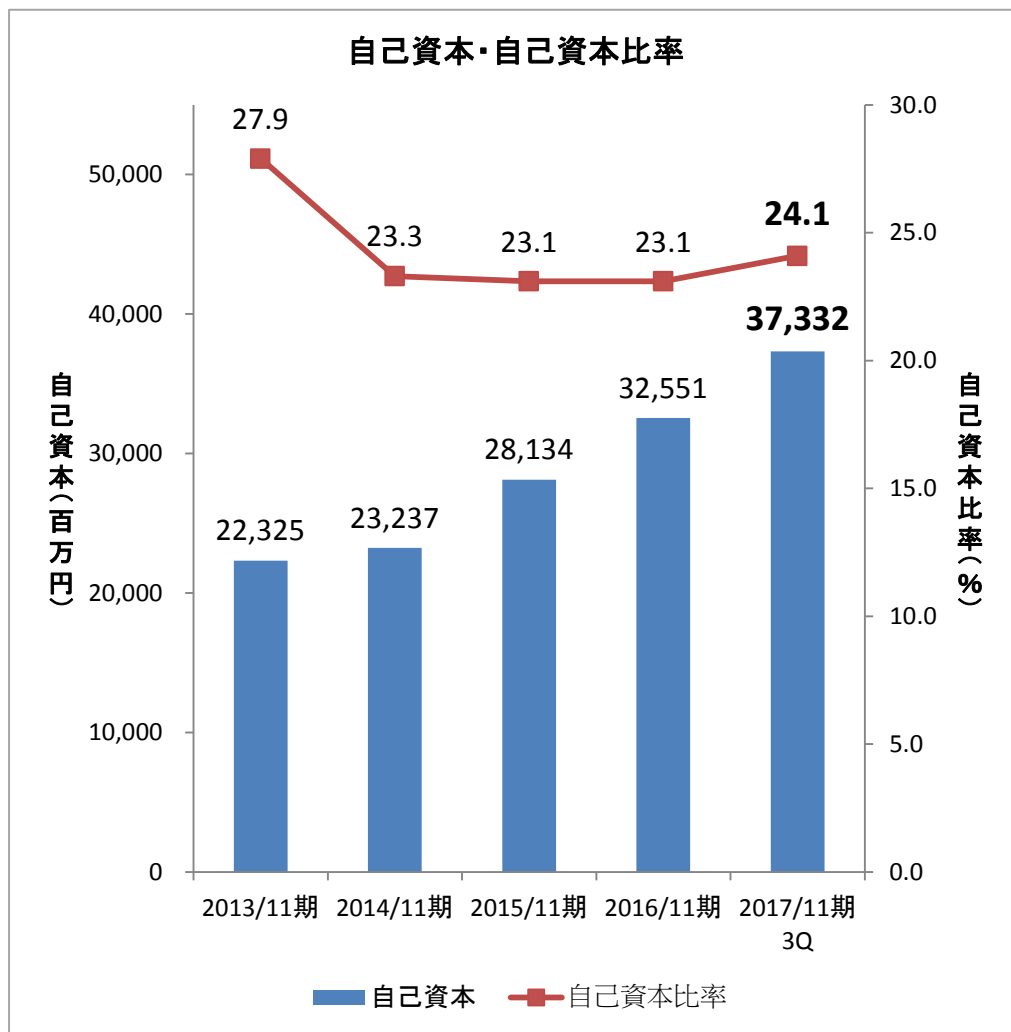
(単位100万円)	2016/11期 期末実績	2017/11期 第3Q実績	増減額	主な増減理由	
資産合計	141,170	155,061	+13,891		
流動資産	85,981	75,635	△ 10,346	◇販売用不動産	
現金及び預金	21,789	20,441	△ 1,347	新規取得	+3,000百万円
販売用不動産	39,514	28,054	△ 11,459	物件竣工・開発原価	+9,500百万円
仕掛販売用不動産	22,940	25,607	+2,667	物件売却	△24,000百万円
固定資産	55,048	79,321	+24,272	◇仕掛販売用不動産	
有形固定資産	50,606	73,511	+22,904	開発用地取得	+6,500百万円
無形固定資産	151	141	△ 10	建築費増加等	+1,800百万円
投資その他の資産	4,290	5,668	+1,378	開発物件の振替等	△6,000百万円
負債合計	108,323	117,393	+9,069	◇純資産	
流動負債	28,439	29,425	+986	四半期純利益	+4,228百万円
短期借入金	10,279	7,937	△ 2,341	新株予約権付社債の転換	+1,275百万円
1年内返済予定の長期借入金	11,205	16,828	+5,622	配当支払い	△783百万円
固定負債	79,884	87,967	+8,082		
長期借入金	74,083	83,924	+9,841		
新株予約権付社債	1,435	160	△ 1,275		
純資産	32,847	37,668	+4,821		
負債純資産合計	141,170	155,061	+13,891		
有利子負債	95,568	108,690	+13,122		
株主資本	32,583	37,304	+4,721		
自己資本比率(%)	23.1%	24.1%	+1.0%		

収益不動産の取得加速に伴い、有利子負債が増加。  
 ネットD/Eレシオは、2.36倍に上昇。



(注) ネットD/Eレシオ = (有利子負債 - 現預金) ÷ 自己資本

自己資本は順調に蓄積。  
有利子負債増加の為、自己資本比率は前期末比+1%の24.1%にとどまる。



(注) ROA = 営業利益 ÷ 総資産 (期首・期末の平均)



< お問い合わせ先 >

社長室

☎TEL: 06-6838-3616 (代表)

✉E-mail: [samty-ir@samty.co.jp](mailto:samty-ir@samty.co.jp)

・本資料で提供している情報に関しては万全を期しておりますが、その情報の正確性及び安全性を保証するものではありません。また、予告なしに内容が変更又は廃止される場合がございますので、予めご了承ください。

・本資料は、発表日現在において入手可能な情報から、当社の現在の計画、業績に関する将来の見通しが含まれております。これらの見通しには、将来において業績に影響を与えるリスクや不確実な要素が含まれており、実際の業績は、さまざまな要素により、これらの見通しとは異なる可能性がございます。

・本資料は、あくまで当社を理解していただく為のものであり、必ずしも投資をお勧めする為のものではありません。